

政策研究大学院大学

国際的指導力育成プログラム



GLD

2年修士学位プログラム

夜間 / 土曜開講

港区六本木

2026

Global Leadership Development (GLD) Program



プログラム紹介

国際社会で個人としてリーダーシップを発揮できる人材の育成

私たちを取りまく世界は、欧州・中東・アジア等での戦争・紛争、保護主義による国際貿易秩序の揺らぎ、感染症・気候変動・エネルギー・食料等の複合的危機などの「地政学リスク」に直面しています。こうした中、外交やビジネスの現場で、様々なグローバルな課題を相手国と協力しながら解決する機会も増えてきています。

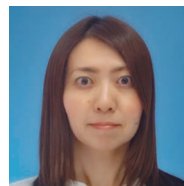
こうした世界のなかでは、情勢やトレンドを正確に理解し、的確な対応をとることのできる、構想力、指導力、コミュニケーション能力を兼ね備えた人材が必要になります。そして、そうした人材が各組織の総合力と結びつくことによって、日本と世界を変える力が発揮されることになります。

多様化・専門化する国際社会で、リーダーシップを発揮する「真の外交力」が必要とされるのは外務省だけではありません。今では、すべての中央省庁、関係機関、地方自治体が何らかの形で世界とつながり、「真の外交力」の必要性を感じています。民間企業は、「地政学リスク」を的確に判断しつつ、関係企業、各国政府、国際機関、さらにはNGOと交渉し、協力関係を築くことのできる人材を必要としています。メディアは、国際情勢を日本に伝えるだけでなく、独自の分析や切り口を提示し、世界に発信することのできる人材を求めています。

「国際的指導力育成プログラム」とは？

「国際的指導力育成プログラム」は、夜間（通常19:30～21:00、一部19:30～21:30）と土曜日に開講される講義を履修するとともに、英語で修士論文を執筆することで、働きながら2年間で修士号を取得できるプログラムです。募集対象は、政府、公共機関、民間企業などで国際業務に携わる幹部および幹部候補職員です。講義の多くは日本語で行いますが、演習の一部と学位論文の執筆は英語で実施します。英語で議論したり、論文を執筆したりする能力を高めるための講義や演習もプログラムに組み込まれています。

在学生コメント



築添 恵さん

独立行政法人国際協力機構

本プログラムでは、急速に変化する国際政治・国際関係について、日本政府の第一線で活躍した経験のある実務家や研究者の先生方や外部講師から、最新の政策動向を踏まえた理論・研究について学ぶことができます。政治・経済・外交・安全保障など多岐に渡る視点から、国家政策の在り方やリーダーシップに関して学ぶことで、知識・思考力・コミュニケーション力の習得に繋がっています。また、現職で実務に従事する受講生との議論は、日々の業務や今後のキャリアにも活かせる経験となり、大きな刺激を受けています。

.....



細井 龍大さん

防衛省

本プログラムには、各分野を代表する先生方、政策の最前線で活躍された講師陣の下、理論と実践の双方を行き来しながら学びを深められるよう、精緻に構成されたカリキュラムが備えられています。実務で得た直感的な理解を学術的にどう表現できるか、また、学術の世界における主張や理論を現場ではいかに解釈し活用できるかを探求する過程は、自身の思索に深みと広がりを与えてくれているように感じます。さらに、多様なバックグラウンドを持つ同期生との対話を通じて、多くの気づきと刺激が得られ、修学が一層豊かなものになっています。

個人としてリーダーシップを発揮できる 国際交渉の先導者

必要とされる力

学術的理論に裏付けられた《真の外交力》

世界各地の
地域情勢の把握

日本と世界の
近代史への理解

国際関係
研究手法の習得

戦略論の
基礎の習得

国際法、国際経済、安全保障等に
関する様々な知識

英語による
交渉力の習得

学術的
分析能力の習得

講義内容

学術的理論武装（アカデミック科目）

国際経済／国際法／地政学リスク／安全保障／外交戦略

プロフェッショナルスキル（実践科目）

国際関係・外交シミュレーション／国際交渉／交渉と発信のための英語

対象者

国・地方の政策担当者

民間企業職員

メディア従事者

修了生・
在学生の
所属機関

● 海上保安庁 ● 外務省 ● 金融庁 ● 経済産業省 ● 公安調査庁 ● 水産庁 ● 東京都庁 ● 内閣府 ● 農林水産省 ● 防衛省・自衛隊
● 文部科学省 ● 朝日新聞社 ● 宇宙航空研究開発機構（JAXA） ● MS&ADインターリスク総研 ● 科学技術振興機構（JST） ● 川崎重工
● クレア株式会社 ● 国立国際医療研究センター ● 国際協力機構（JICA） ● 大和フード&アグリ株式会社
● デロイト・トーマツコンサルティング合同会社 ● 日本経済新聞社 ● 日本経済団体連合会 ● 日本貿易振興機構（JETRO） ● 毎日新聞社
● 丸紅株式会社 ● 三菱総合研究所 ● 読売新聞東京本社

プログラム担当教員



篠田 邦彦

政策研究大学院大学 教授・GLDプログラムディレクター

学 位：米国カーネギーメロン大学産業経営大学院 (GSIA) (修士)

専門分野：通商政策、国際経済政策

主な経歴：通商産業省入省後、APEC室長、資金協力課長、アジア大洋州課長、通商交渉官等を歴任。また、在フィリピン日本国大使館、海外貿易開発協会バンコク事務所、石油天然ガス・金属鉱物資源機構北京事務所、日中経済協会北京事務所に海外勤務。2019年～本学勤務

担当講義：国際経済交渉論

.....



カテリナ・ペチコ

政策研究大学院大学 教授

学 位：テンプル大学 (Ed.D.)

専門分野：教育学、言語教育

主な経歴：上智大学経済学部非常勤講師

担当講義：Principles of Effective Communication, Effective Communication for Global Leaders

.....



マシュー・ブラマー

政策研究大学院大学 准教授・GLDプログラム副ディレクター

学 位：東京大学 (博士号)、コロンビア大学 (Master of International Affairs)

専門分野：科学技術イノベーション政策・外交

主な経歴：経済産業省英語スピーチライター、The Economistアナリスト

担当講義：Seminar on International Relations Theories and Research Methods

講義を担当するスペシャリスト



番匠 幸一郎

防衛大臣政策参与

政策研究大学院大学 客員教授

専門分野：国家安全保障戦略、防衛政策、国際安全保障協力、危機管理

主な経歴：第1次イラク復興支援群長、東日本大震災「トモダチ作戦」日米共同調整所長、陸上幕僚副長、陸上自衛隊西部方面総監 陸将、国家安全保障局顧問

主な著書：“Japan's New Defense Strategy in the Southwest Islands and Development of Amphibious Operations Capabilities” RAND Corporation, 2018年。『核兵器について、本音で話そう』（共著）新潮社、2022年。『失敗の本質を超えて』（共著）日本経済新聞出版、2024年

このほか、川崎研一（本学教授）、米谷三以（前経済産業省通商政策局通商法務官）、田中明彦（国際協力機構理事長）、塚本 勝也（防衛研究所戦史研究センター 安全保障政策史研究室長）、古谷健太郎（本学連携教授、海上保安大学校教授）、道下徳成（本学教授、アトランティック・カウンシル 非常勤シニア・フェロー）の各氏が本プログラムの講義を担当しています。

授業科目（夜間・土曜開講のもの）

- 国際関係・外交政策論文演習
- 外交アカデミー I, II
- 国際関係の理論と研究方法
- 国際法と安全保障
- 経済政策分析
- 国際経済法
- 国際経済交渉論
- 国家戦略論
- 外交交渉論
- 安全保障論
- 情報と安全保障
- 国際関係・外交シミュレーション
- 政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I, II
- Seminar on International Relations Theories and Research Methods
- Principles of Effective Communication
- Effective Communication for Global Leaders

外交アカデミー

「外交アカデミー」は、国際交渉や国際会議で活躍する高度な交渉能力と洗練されたコミュニケーション能力を持つ人材を育成するため、2015年からGRIPSのシンクタンクである政策研究院が開講しているプログラムです。外交アカデミーでは、著名なスピーチライターである谷口智彦氏ら、国際経験の豊富な実務家、学識経験者が講師として実践的な講義を行っています。

「国際的指導力育成プログラム」の学生は、「外交アカデミー」を受講することで、学位取得に必要な単位の一部を得ることができます。



シミュレーションゲームでの議論



プログラム概要

学位	修士（政策研究）
授業言語	日本語・英語（学位論文は英語）
標準修業年限	2年（4月入学）
募集人員	10名程度
選抜方法	書類審査及び面接
学費	検定料30,000円、入学料282,000円、 授業料642,960円（年間）
開講時間帯	夜間／土曜
場所	港区六本木 大江戸線六本木駅より徒歩5分 千代田線乃木坂駅より徒歩6分 日比谷線六本木駅より徒歩10分

出願スケジュール

2025年9月20日（土）～10月10日（金）	出願（第1回試験）
11月6日（木）	書類審査結果発表（ // ）
11月13日（木）または14日（金）	オンライン面接（ // ）
11月26日（水）	最終結果発表（ // ）
12月13日（土）～2026年1月9日（金）	出願（第2回試験）
1月28日（水）	書類審査結果発表（ // ）
2月5日（木）または6日（金）	オンライン面接（ // ）
2月25日（水）	最終結果発表（ // ）



詳細はウェブサイト
www.grips.ac.jp/ まで

お問い合わせ先
国立大学法人 政策研究大学院大学
アドミッションズ・オフィス
〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
Email : admissions@grips.ac.jp

政策研究大学院大学 (GRIPS) の特色

国際的な研究・教育環境

キャンパスは東京都心・六本木に位置し、全学生の約3分の2が留学生という極めて国際的な環境です。英語による科目の履修を通じて、世界各国の政府部門で働くミッドキャリアである留学生達との政策議論に挑戦してください。また、イベント等を通じた学生間の国際交流も積極的に支援しています。このような環境を通じて、修了後のキャリアにおいても貴重な財産となる人的ネットワークを構築してください。



充実した英語サポート

本学に設置されたプロフェッショナル・コミュニケーションセンター（CPC）では、大学院教育に求められる高度なアカデミック英語だけでなく、GRIPS修了後に、プロフェッショナルとして国際的な現場で生かすことのできる実践的な英語のトレーニングなど、英語に関するあらゆるサポートを行っています。

プロフェッショナルとして求められる会話、プレゼンテーション、議論、文書作成等に関する英語力を身につけるためのワークショップ、英語で行われる講義を履修したい日本人学生向けのLanguage Support Program for Japanese Students、英語学習の教材の閲覧や、学生同士のコミュニケーションの場として自由に使用できるコミュニケーションラウンジなど、充実したサポート環境を最大限に活用してください。

